

## 長 田 区 会

### 故郷の家

長田区区会長(美8)松本治司

長い間、日本で苦勞を重ね、今また孤独な生活を送っているコリアンの人達が、故郷の香りに包まれながら、安心して余生を暮らせる特別養護老人ホームが長田区にあります。

戦後60余年が過ぎ、在日3・4世の時代となり若い人達は母国語が理解出来ない時代となりましたが、在日コリアンの高齢者は今でもなお郷愁の思いに胸を痛み、そっと韓国の歌を口ずさみ故郷を偲びます。

そんな人たちのために、平成13年2月に長田区東尻池7丁目に「特別養護老人ホーム故郷の家」が出来ました。定員は58名ですが現在はほぼ満室で、祖国の環境に近い老人ホームとして好評です。韓国の研修生を受け入れたり、入居者はコリアンだけでなく日本人も3割を占めるようになりました。

その老人ホームに神戸市シルバーカレッジの卒業生が、毎月第3日曜日に喫茶サービスの慰問訪問をしています。この老人ホームはシルバーカレッジの福祉コースの生徒が授業の一環として見学に訪れる施設でもありますが、現在ボランティアとして活動している人たちのほとんどは福祉コースの卒業生です。

喫茶サービスの時間は14時から16時までで、コーヒ・紅茶・ジュース・ウーロン茶とケーキ等を準備して「オソオセヨ」(いらっしゃいませ)で皆さんを迎えます。

14時前からハラボジ(おじいちゃん)ハルモニ(おばあちゃん)たちが施設の職員が押す車椅子に乗って1階に降りてきます。1人1人に「おばあちゃん何飲む、おじいちゃん何食べる?」と尋ねます。直ぐに返事を呉れる人、長い間考える人、怒り出す人、眠っている人、そんなさまざまな個性の人達が集まりロビーが賑やかな喫茶店に様変わりします。ボランティアの人達は手慣れたもので、鮮やかな連携作業で1人1人の要望に応えます。

あつと言う間に2時間は過ぎますが、気遣いと、立っての作業なのでさすがに疲れます。そんなときに、食べ

終わった人達から「私まだ食べてない・飲んでない」と文句が出たりしますと、また一段と疲れが増します。しかし、「有り難う・美味しかった」と言って手を合わせて喜んでくれる人もいますので救われます。

今年からこのボランティアに、長田区会からも参加するようになりましたが、作業内容を考えると、以前から続けて居られる人たちには本当に頭が下がります。

ボランティアの内容も多種多様になりましたが、私自身、人が喜ぶ顔を見て感動し、また、参加して良かったと思う気持ちが自己啓発に繋がっているように思われます。



## 西 区 会

### 諸活動の継続と

#### 4ブロック制のスタート

西区会会長(生11)茅中 英一

西区会会長を拝命致しました。関係者の皆様のご指導、ご協力、ご支援を頂戴してこの重責を担って参りたく何卒よろしくお願い申し上げます。今年度の西区会運営の重点的な考え方を次の2点にしたいと思います。

まず1点目は、これまで諸先輩が営々と築かれた諸活動の伝統を継承し次代へバトンタッチすることです。そのための支えが少しでも出来れば良いと考えます。次いで2点目は、今年度新たにスタートする「4ブロック制」が軌道に乗るよう幹事の方々や会員の皆様と共に努力することです。この制度は従来会員の顔が見えにくかったのを、近接する4地域に分け、先ずコミュニケーションを

良くし少しでも支え合えるようにすることです。

さて、1点目の活動継続の事例をご紹介します。会員が参加して平成17年12月から始めた竹の台小児童の登下校時の安全パトロールが2年半経った5月20日に500回目を迎えました。当日全校生徒が校庭に集合して、井内祐一会員(生環10期)ほか参加住民が代表して児童達から感謝されました。

現在は、竹の台の会員9名とKSC生2名に地元住民も加わり1日平均

16名が雨の日も風の日も児童達の安全を見守っています。本当にご苦労様です。当会としてもこの活動が継続され他地域へも広がるよう支援致したく考えます。

その他にも以下の活動が継続されています。コーラス「コロむつみ」、エルダービレッジ:喫茶支援・社交ダンス指導、神出自然教育園、

老健施設(「風と緑」:書道指導・花壇管理、「花と風」:社交

ダンス)、竹の北公園管理、川柳指導:ビバサン神戸・デイサービス珠光庵、仲間農園指導、神出幼稚園:園児とミニトマト等野菜の鉢植えと管理。

また、「4ブロック制」については、先ず食事会やハイキング等のコミュニケーションから始め、会員相互の顔が見えるようにし、会員の皆様の賛同を得て少しずつ当制度や相互扶助制度への理解と活用の広がりにつなげ、地域で支え合える形にし、会員同志は勿論地域住民からも喜ばれる活動になれば良いと考えます。この1年間よろしくお願い申し上げます。

